

9期子ども運動教室の実践報告

金子勝司¹⁾・曾根裕二¹⁾・植木章三¹⁾・竹内亮¹⁾・
安田友紀²⁾・陳洋明¹⁾・後上鐵夫¹⁾

A practice report on 9th school of movement for children

Shoji Kaneko, Yuji Sone, Shouzoh Ueki, Ryo Takeuchi,
Yuki Yasuda, Yomei Chin, Tetsuo Gokami

1. はじめに

2012（平成24）年6月にスタートした、大阪体育大学健康福祉学部健康福祉実践研究センター（以下、健康福祉実践研究センター）による子ども運動教室（以下、運動教室）は、地域貢献と学生の指導実践の機会の提供といった2つの目的を持っている。その内容は、運動を得意とする子どもだけではなく、運動が苦手な子どもにも参加してもらい、健常者と障がいがある子どもたちが一緒に楽しめる運動の実践である。

また、この運動教室は、健康福祉実践研究センターの教員と学生スタッフ等が中心となり、それぞれの子どもに合った運動プログラムを考え、きめ細やかな実践指導を行っている。走る・投げる・跳ぶといった基本動作の習得、また、とび箱が跳べないなど運動が苦手な子どもには、それぞれの問題を把握し、運動の基本を教えることで課題をクリアして

いる。

障がいのある子どもには、保護者との面談を通し、不安要素をヒアリングしながら、それぞれの子どもの適した運動プログラムを考え、弱点を克服し体力の向上を図っていくといった内容である。本稿では、9期子ども運動教室に参加した子どもの保護者に対して、質問紙による運動教室に対する満足度や実施後の子どもの変容等について、学生スタッフの指導の満足度等に関する調査を行い、得られた回答から今後の課題を明らかにし次回に向けた活動方針を検討する。

2. 実施概要

- 1) 場所：大阪体育大学 第6体育館（新多目的体育館）
- 2) 開催日・時間：平成27年10月1日～12月17日（毎週木曜日 計10回）毎週木曜日 16時30分～17時40分

大阪体育大学教育学部
〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1

1) 大阪体育大学教育学部 2) 大阪体育大学健康福祉学部

- 3) 参加費：参加費無料 傷害保険料別途徴収
- 4) 参加対象：3歳～7歳くらいまで 父兄同伴で参加できる子どもに限定
- 5) プログラムの内容
- 1回目（10月1日）レクリエーション運動・基本運動（走る・跳ぶ・リズム）
- 2回目（10月15日）体力測定+基本運動（走る・跳ぶ・リズム）
- 3回目（10月22日）マット・跳び箱を使った運動+基本運動（走る・跳ぶ・リズム）
- 4回目（10月29日）マット・跳び箱を使った運動+基本運動（走る・跳ぶ・リズム）
- 5回目（11月5日）ニュースポーツ+基本運動（走る・リズム）
- 6回目（11月19日）鉄棒運動・ボール投げ+基本運動（走る・リズム）
- 7回目（11月26日）鉄棒運動・ボール投げ+基本運動（走る・リズム）
- 8回目（12月3日）平均台・なわを使った運動+基本運動（走る・跳ぶ・投げる）
- 9回目（12月10日）体力測定+基本運動（走る・跳ぶ・投げる）
- 10回目（12月17日）ダンス+基本運動（走る・跳ぶ・リズム）

3. 9期子ども運動教室の組織と参加人数（学生スタッフ・子どもの参加者）

〔学生スタッフの組織〕：学生登録人数76名
（学年：4回生14名、3回生21名、2回生18名、1回生23名 性別：男子学生36名、女子学生40名）

- ・学生リーダー（1名）、学生副リーダー（2名）
- ・各組リーダー（各1名）、サブリーダー（各1名）
- 【赤組・オレンジ組・みどり組・黄色組・青組・ピンク組】（計12名）
- ・学生の出欠確認【各学年1名ずつ】（6名）
- ・当日のプログラム作成【各リーダーとサブリーダー】（計12名）
- ・当日の子どもとのペア学生（50名）、学生指導係（1名）
- ・教員（5名）

〔子どもの性・年齢別参加人数〕：57名（男35名・女22名）

対象年齢	人数	障がいあり	6グループ
7～9歳	9名	発達障がい等がある子ども (男13名・女4名)	赤組
6歳	9名		オレンジ組
5歳	10名		みどり組
5歳	10名		黄色組
4歳	11名		青組
3歳	8名		ピンク組
	計57名	17名(全体の29%)	

4. 9期子ども運動教室の課題

参加した子どもと保護者の満足度向上と学生スタッフの指導力向上を目指し、以下の課題解決に取り組むこととする。

- ・子ども達への積極的なコミュニケーション

- ・運動の楽しさを伝える
- ・活動を通して子ども自身に考えさせ行動する機会をつくる
- ・教室実施前後の保護者への積極的な対話（本日の内容説明・子どもの動きについての説明等）の実施

5. 調査の内容

- ・調査目的 参加した子どもの保護者に対し参加の満足度（内容・指導について）や参加理由、実施後の子どもの変容について、今後の要望等、質問紙調査で得られた回答をもとに次回の教室運営に生かしていく。
- ・調査方法 質問紙による調査（記名式）
調査の目的や回答を拒否した場合、何らかの不利益を被ることがないこと、内容については個人が特定される形では公表しないことなどを口頭で説明し、同意が得られる場合に回答してもらった。
- ・調査対象 9期子ども運動教室に参加した子どもの保護者
- ・調査日時 平成27年12月17日 16時30分～17時30分
- ・調査内容 ①子ども運動教室の参加満足度（記述式）

- ②子ども運動教室に参加した理由について（5件法）
- ③子ども運動教室の興味・関心について（選択式・複数回答）
- ④子ども運動教室の改善してほしい点、要望について（記述式）
- ⑤子ども運動教室の次回希望するプログラムについて（選択式・複数回答）
- ⑥学生スタッフの指導の満足度について（5件法）
- ⑦教室に参加したことで生活面の影響について（記述式）

・回収数（回収率）52部：52／57（91%）

内訳 男子31/35(86%)、女子21/22(95%)

6. 質問紙調査の結果

6-1. 子ども運動教室の参加満足度について

表1. 子ども運動教室の参加満足度（性・年齢別）

	サンプル数	すごく良かった	まあ良かった	どちらともいえない	あまり良くなかった	よくなかった	無回答
全 体	52 100.0	49 94.2	2 3.8	1 1.9	-	-	-
全 体 5 歳 以下	35 100.0	32 91.4	2 5.7	1 2.9	-	-	-
6 ～ 7 歳	14 100.0	14 100.0	-	-	-	-	-
8 ～ 9 歳	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-
男 計	31 100.0	31 100.0	-	-	-	-	-
5 歳 以下	17 100.0	17 100.0	-	-	-	-	-
6 ～ 7 歳	11 100.0	11 100.0	-	-	-	-	-
8 ～ 9 歳	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-
女 計	21 100.0	18 85.7	2 9.5	1 4.8	-	-	-
5 歳 以下	18 100.0	15 83.3	2 11.1	1 5.6	-	-	-
6 ～ 7 歳	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-
8 ～ 9 歳	-	-	-	-	-	-	-
障がい あり	17 100.0	17 100.0	-	-	-	-	-
男	13 100.0	13 100.0	-	-	-	-	-
女	4 100.0	4 100.0	-	-	-	-	-
なし	35 100.0	32 91.4	2 5.7	1 2.9	-	-	-
男	18 100.0	18 100.0	-	-	-	-	-
女	17 100.0	14 82.4	2 11.8	1 5.9	-	-	-

今回の子ども運動教室の参加満足度を、「すごく良かった」「まあ良かった」「どちらともいえない」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階で評価してもらった結果、全体では94.2%の保護者が「すごく良かった」と回答した。また男女別に保護者の回答をみると、男子の保護者では「すごく良かった」と回答したものが100%、女子の保護者では

85.7%であった。障がいのある子どもの保護者の回答でも、「すごく良かった」と回答したものは100%であり、多くの保護者が高い評価をしたことが明らかになった（表1）。

6-1-2. 子ども運動教室の参加満足度（評価ごとの理由）について

表2. 評価ごとにみた子ども運動教室の参加満足度

評価	性別	年齢	障がい	理由
すこく良かった	男	3	有	学生さんたちの活気であり、子どもも親も元気をもらえました。
	男	3	無	学生さん達の子どもへの気配り、面倒見がとて良かったです。
	男	4	有	自分から前に進んでチャレンジする様になった。人に話を聞いて理解しようとする様になりました。
	男	4	有	親子で木曜日とても楽しみにしていました。体を思いきり使って遊ぶ場所も少ないし、何より学生のお兄さんお姉さんの熱心且つ優しい指導は他にはないと思います。今回も参加させて頂き感謝します。
	男	4	有	前回もでしたけど体調が悪く休むことが多くすみません。回数は少ないですがすごく満足しています。
	男	4	無	先生が1人に1人ついてくれるので、子どもも先生に心を開け楽しく過ごせました。
	男	5	有	いやがってた子が保育園で今日は体操だよと言うようになった。
	男	5	有	前回やった事をくわしく紙に書いてくれたのでわかりやすかった。
	男	5	有	体を動かす事は大好きだったんですが、日頃、自ら進んでやらないような遊びも楽しんで取り組み、興味を持つようになりました。
	男	5	有	団体になれさせたいという思いもあって参加させていただいていたので、少しずつですが、なじむこともできているようなので思っていた結果に近づけたと思います。
	男	5	無	いろんな事を経験させてくれるので、すこしづつ自信がついてきている。たくさんほめてもらえることも喜んでます。
	男	5	無	スキップも出来るようになったし、自己流じゃあかんとわかってくれた！！
	男	5	無	子どもが楽しく通えたところ。毎週楽しみにしていました。
	男	5	無	出来なかったのが出来るようになった。飛び箱、なわとび。
	男	5	無	毎週とても楽しみにしています。なわとびを続けて飛べるようになった。
	男	6	有	K之介の一番の課題とする対人、集団での自分のアビールの仕方とK之介なりに学べる絶好の機会になりました。
	男	6	有	担当の先生がとて良かったです。S太郎はりょうこ先生がとても好きで、通う事を喜んでいました。
	男	6	無	みんなで犬なわとびをやってくれた。
	男	6	無	子どもが楽しそうに取り組んでいた。
	男	6	無	色々な種目を体験出来るので本人の自信につながった。ほめてもらえるので喜んでた。
	男	6	無	毎回子どもが、運動教室を心待ちにしているの、教室でも前向きに取り組んでいるので。
	男	7	有	体力がついて同級生と対等に遊べる様になった。
	男	7	有	木曜日一体大の日と理解し、友達と遊ぶ約束をせず、時間の使い方も運動教室モードに出ている。スイミングコーチに体大の話をニコニコして報告しているようです。
	男	7	無	なわとびが苦手だったのが、練習しようとか家で出来るようになり少しずつ出来るようになってきた。
	男	7	無	ひとりひとりに優しい言葉がけをして下さり、子どもがどんどん自信を持って楽しめた。
	男	7	無	他の習い事にはない笑顔が多かったです。運動教室の日とても楽しみにしており、宿題もすぐに終わらせています。学生さん達の考えでくれたプログラム毎回楽しみにしており参加できてよかったです。
	男	8	有	うまく出来なくても良いところを見つけて褒めてもらえる。運動をのびのびと行える。恐怖心がなくなった。
	男	8	無	苦手だったなわとびができるようになった。
	男	8	無	集団行動のルールを学べたからです。
	女	2	無	参加はまだですが参加出来る年になれば参加したいです。
女	3	無	ほめちぎってくれる。アゲアゲな感じが見ている方にとてもすごく楽しい。毎回たくさん工夫されていて、楽しみながら体力づくりできるのがとてもいいと思う。	
女	3	無	子どもがとても楽しみにしていて、色々な事を教えていただけてよかったです。	
女	3	無	自分から体を動かすようになった。	
女	4	有	皆さんのより添いが温かった。	
女	4	有	初日からこちらのことを「おおさか」と言って、寝てもさめても「おおさかいく？」「おおさかいくんだよ〜」と、本当に楽しんでおりました。	
女	4	無	集団行動のルールを学べたからです。	
女	5	有	子どもの性格、個性に寄り添っていただけたので。	
女	5	無	一人一人に指導員が付いて優しく教えてもらえる為。	
すこく良かった	女	5	無	子どもがとても楽しそうにしている。家ではできない大きな動きの運動ができる。丁寧に教えてくださる。親、祖父母以外の世代のおおぜいの大人の方々とコミュニケーションできる（シャイな性格をなんとかしたい）。
	女	5	無	子どもの能力にあわせて、むしろず〜でも上達できるような、プログラムだと思います。
	女	5	無	少しずつですが泣かずにできる時間が増えてきました。
	女	5	無	色々な事にチャレンジすることができたので良かったです。
	女	5	無	必ず先生が付きそってくれるので良かったです。
	女	6	無	学生さん達の子どもへの気配り、面倒見がとても良かったです。
	女	7	有	マンツーマンでの対応。障がいがあっても参加させて頂ける教室。
よかったです	女	7	無	最初は何をやらかわからず嫌がる様子もありましたが、お兄さん、お姉さんにはげましてもらいながら取り組み、できることが増え、最後はやめたくないと言っていました。
	女	4	無	普段あまり体を動かさないの、週1回でも機会があるのでうれしいです。けど、本人がなかなかやる気をだしてくれないので次回からはもっと積極的に参加してほしいです。
いえない	女	3	無	親とはなれて体操が出来なかった為。

運動教室の参加満足度に関するその理由（自由記述）をみると、男女別、障がいの有無による大きな違いはなく、共通意見として学生スタッフによる子どもへの熱心な関わり、優しい声掛け（うまくできていなくても良い所を見つけて褒めてくれる）等、子どもに対する対応に高い評価が多かった。また自身の子どもが、この運動教室を通して日常生活において積極的な行動（やったことのない活動に取り組む、縄跳びの練習をする）等への変化や運動技術の習得（スキップ、跳び箱、縄跳びができるようになる）等、また運動教室

の中で楽しそうに活動している姿をみることで、良い評価につながっていることが明らかになった（表2）。

6-2. 子ども運動教室に参加した理由について〔上位3つ〕

6-2-1. 子ども運動教室に参加した理由について（その他の回答）

運動教室に参加した理由について尋ねると（複数回答）、全体では「集団行動を学ばせたい（55.8%）」「何か運動をさせたいと考えていた（46.2%）」「運動技術を身につけさせた

表3. 子ども運動教室に参加した理由

集計軸：性年齢別+障害有無	サンプル数	不安調があつたに	個人的に時間が	友人に誘われた	無料だから	たしかに運動を考えた	身に付けたい	運動技術を身に付けたい	学集団を学ばせたい	運動が苦手だから	学ばせたい	友達を作りたい	少ない運動量が	その他	無回答
全体	52	19.2%	3.8%	1.9%	25.0%	46.2%	38.8%	55.8%	23.1%	30.8%	-	-	26.9%	13.3%	-
全体	5	25.7%	2.9%	-	22.9%	57.1%	34.3%	57.1%	20.0%	31.4%	-	-	28.6%	8.6%	-
6~7歳	14	7.1%	7.1%	7.1%	28.6%	28.6%	42.9%	50.0%	28.6%	28.6%	-	-	21.4%	28.6%	-
8~9歳	3	-	-	-	33.3%	-	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	-	-	33.3%	-	-
男	31	16.1%	3.2%	3.2%	22.6%	41.9%	41.9%	58.1%	19.4%	38.7%	-	-	22.6%	12.9%	-
5歳以下	17	23.5%	5.9%	-	17.6%	64.7%	41.2%	58.8%	11.8%	41.2%	-	-	17.6%	5.9%	-
6~7歳	11	9.1%	-	9.1%	27.3%	18.2%	36.4%	54.5%	27.3%	36.4%	-	-	27.3%	27.3%	-
8~9歳	3	-	-	-	33.3%	-	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	-	-	33.3%	-	-
女	21	23.8%	4.8%	-	28.6%	52.4%	33.3%	52.4%	28.6%	19.0%	-	-	33.3%	14.3%	-
5歳以下	18	27.8%	-	-	27.8%	50.0%	27.8%	55.6%	27.8%	22.2%	-	-	38.9%	11.1%	-
6~7歳	3	-	33.3%	-	33.3%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	-	-	-	-	33.3%	-
8~9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害	17	23.5%	-	-	-	47.1%	17.6%	70.6%	35.3%	47.1%	-	-	23.5%	17.6%	-
男	13	23.1%	-	-	-	53.8%	23.1%	69.2%	23.1%	46.2%	-	-	23.1%	15.4%	-
女	4	25.0%	-	-	-	25.0%	-	75.0%	75.0%	50.0%	-	-	25.0%	25.0%	-
なし	35	17.1%	5.7%	2.9%	37.1%	45.7%	48.6%	48.6%	17.1%	22.9%	-	-	28.6%	11.4%	-
男	18	11.1%	5.6%	5.6%	38.9%	33.3%	55.6%	50.0%	16.7%	33.3%	-	-	22.2%	11.1%	-
女	17	23.5%	5.9%	-	35.3%	58.8%	41.2%	47.1%	17.6%	11.8%	-	-	35.3%	11.8%	-

表4. 子ども運動教室に参加したその他の理由（性・年齢別、複数回答）

性別	年齢	障がい	理由
男	5	有	手先、指が不器用でO.Tや発達相談の先生方にすすめられた為。
男	6	有	大人数の集団という場を経験させたかった。
男	6	無	子どもが、運動教室に行きたいと言ったので。
男	7	無	運動することが楽しいと思わせたかった。知らない子たちの集団の中に抵抗なく入らせたかった。
女	3	無	兄弟でやってほしかったから。
女	7	有	障がいがあっても参加出来るから。

い(38.5%)」といった回答が上位であった。男女別の回答をみると、男子の保護者では「集団行動を学ばせたい(58.1%)」「何か運動をさせたいと考えていた(41.9%)」「運動技術を身につけさせたい(41.9%)」、女子の保護者では「集団行動を学ばせたい(52.4%)」「何か運動をさせたいと考えていた(52.4%)」「運動技術を身につけさせたい(33.3%)」「日ごろ運動量が少ないため(33.3%)」といった回答が上位であった。障がいのある子どもの保護者の回答では、「集団行動を学ばせたい(70.6%)」「何か運動をさせたいと考えていた(41.9%)」「ルールを学ばせたい(47.1%)」といった回答が上位であった(表3,表4)。

グラムについて尋ねると(複数回答)、全体では「鉄棒(57.7%)」「マット運動(53.8%)」「リズム運動(42.2%)」「縄跳び(42.2%)」といった回答が上位を占めた。男女別の回答をみると、男子の保護者では「鉄棒(54.8%)」「マット運動(51.6%)」「投げの運動(42.2%)」「縄跳び(42.2%)」、女子の保護者では「鉄棒(61.9%)」「マット運動(57.1%)」「リズム運動(42.9%)」「縄跳び(42.9%)」といった回答が上位であった。障がいのある子の保護者の回答では、「リズム運動(64.7%)」「マット運動(58.8%)」「鉄棒(41.2%)」「縄跳び(42.2%)」といった回答が上位であった(表5)。

6-3. 今回の運動教室で興味・関心のあったプログラムについて〔上位3つ〕

今回の運動教室で興味・関心のあったプロ

表5. 今回の運動教室で興味・関心のあったプログラム(性・年齢別、複数回答)

集計軸：性年齢別+障害有無	サンプル数	マット運動	鉄棒運動	平均台運動	リズム運動	なわとび	『投げ』の運動	要素のレクリエーション的運動	『走り』の運動	ダンス	その他	無回答
全体	52	53.8	57.7	15.4	42.3	44.2	32.7	19.2	17.3	5.8	5.8	-
全体、5歳以下	35	45.7	48.6	20.0	48.6	34.3	34.3	25.7	25.7	8.6	-	-
6~7歳	14	71.4	78.6	7.1	28.6	64.3	21.4	7.1	-	-	21.4	-
8~9歳	3	66.7	66.7	-	33.3	66.7	66.7	-	-	-	-	-
男、計	31	51.6	54.8	16.1	41.9	45.2	45.2	12.9	22.6	-	6.5	-
5歳以下	17	35.3	41.2	23.5	47.1	35.3	52.9	17.6	41.2	-	-	-
6~7歳	11	72.7	72.7	9.1	36.4	54.5	27.3	9.1	-	-	18.2	-
8~9歳	3	66.7	66.7	-	33.3	66.7	66.7	-	-	-	-	-
女、計	21	57.1	61.9	14.3	42.9	42.9	14.3	28.6	9.5	14.3	4.8	-
5歳以下	18	55.6	55.6	16.7	50.0	33.3	16.7	33.3	11.1	16.7	-	-
6~7歳	3	66.7	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	33.3	-
8~9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害、あり	17	58.8	41.2	17.6	64.7	41.2	35.3	5.9	17.6	5.9	5.9	-
男	13	53.8	46.2	23.1	61.5	38.5	38.5	-	23.1	-	7.7	-
女	4	75.0	25.0	-	75.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-
なし	35	51.4	65.7	14.3	31.4	45.7	31.4	25.7	17.1	5.7	5.7	-
男	18	50.0	61.1	11.1	27.8	50.0	50.0	22.2	22.2	-	5.6	-
女	17	52.9	70.6	17.6	35.3	41.2	11.8	29.4	11.8	11.8	5.9	-

6-4. 次回の子ども運動教室に期待するプログラムについて〔上位3つ〕

今回の運動教室に期待するプログラムについて尋ねると（複数回答）、全体では「今回の子ども運動教室と同様のプログラム（55.8%）」「球技系のプログラム（34.6%）」「技術習得を中心としたプログラム（32.7%）」といった回答が上位であった。男女別の回答をみると、男子の保護者では「今回の子ども運動教室と同様のプログラム（58.1%）」「器械運動を中心としたプログラム（41.9%）」「球技系のプログラム（35.5%）」「技術習得を中心としたプログラム（35.5%）」、女の子の保護者では「今回の子ども運動教室と同様のプログラム（52.4%）」「器械運動を中心としたプログラム（38.1%）」「遊びを中心としたプログラム（33.3%）」

「球技系のプログラム（33.3%）」といった回答が上位であった。障がいのある子の保護者の回答では、「今回の子ども運動教室と同様のプログラム（52.9%）」「器械運動を中心としたプログラム（47.1%）」「リズム運動を中心としたプログラム（35.3%）」といった回答が上位であった（表6）。

6-5. 学生スタッフの指導についての満足度について

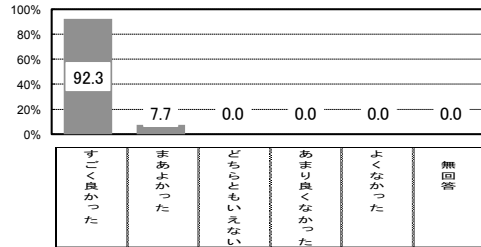


図1. 学生スタッフの指導についての満足度

表6. 次回の子ども運動教室に期待するプログラム（性・年齢別、複数回答）

集計軸：性年齢別+障害有無	サンプル数	今回の子ども運動教室と同様のプログラム	親子運動教室	と技術習得をプログラム中心としたプログラム	と「遊び」をプログラム中心としたプログラム	「球技系」を中心としたプログラム	「器械運動」を中心としたプログラム	「リズム運動」を中心としたプログラム	「ダンス系」を中心としたプログラム	「球技系」のプログラム	リズム運動	その他	無回答
全体	52	55.8	3.8	32.7	21.2	17.3	21.2	40.4	11.5	34.6	26.9	9.6	-
全体、5歳以下	35	60.0	5.7	25.7	28.6	17.1	20.0	31.4	14.3	28.6	34.3	5.7	-
6～7歳	14	42.9	-	35.7	7.1	14.3	28.6	64.3	7.1	50.0	7.1	21.4	-
8～9歳	3	66.7	-	100.0	-	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-
男、計	31	58.1	3.2	35.5	12.9	22.6	22.6	41.9	6.5	35.5	29.0	9.7	-
5歳以下	17	64.7	5.9	17.6	17.6	23.5	23.5	35.3	5.9	35.3	41.2	-	-
6～7歳	11	45.5	-	45.5	9.1	18.2	27.3	54.5	9.1	36.4	9.1	27.3	-
8～9歳	3	66.7	-	100.0	-	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-
女、計	21	52.4	4.8	28.6	33.3	9.5	19.0	38.1	19.0	33.3	23.8	9.5	-
5歳以下	18	55.6	5.6	33.3	38.9	11.1	16.7	27.8	22.2	22.2	27.8	11.1	-
6～7歳	3	33.3	-	-	-	-	33.3	100.0	-	100.0	-	-	-
8～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害、あり	17	52.9	5.9	23.5	5.9	29.4	29.4	47.1	5.9	29.4	35.3	11.8	-
男	13	46.2	7.7	23.1	7.7	38.5	38.5	38.5	7.7	23.1	38.5	15.4	-
女	4	75.0	-	25.0	-	-	-	75.0	-	50.0	25.0	-	-
なし	35	57.1	2.9	37.1	28.6	11.4	17.1	37.1	14.3	37.1	22.9	8.6	-
男	18	66.7	-	44.4	16.7	11.1	11.1	44.4	5.6	44.4	22.2	5.6	-
女	17	47.1	5.9	29.4	41.2	11.8	23.5	29.4	23.5	29.4	23.5	11.8	-

6-5-1. 学生スタッフの指導の満足度について (評価ごとの理由)

表7. 学生スタッフの指導の満足度 (評価ごとの理由)

性別	年齢	障がい	理由
男	3	有	学生さんたちの活気であり、子どもも親も元気をもらえました。
男	3	無	学生さん達の子どもへの気配り、面倒見がとても良かったです。
男	4	有	自分から前に進んでチャレンジする様になった。人に話を聞いて理解しようとする様になりました。
男	4	有	親子で木曜日とても楽しみにしていました。体を思いきり使って遊ぶ場所も少ないし、何より学生のお兄さんお姉さんの熱心且つ優しい指導は他にはないと思います。今回も参加させて頂き感謝します。
男	4	有	前回でもしたけど体調が悪く休むことが多くすみません。回数は少ないですがすごく満足しています。
男	4	無	先生が1人に1人ついてくれるので、子どもも先生に心を開け楽しく過ごせました。
男	5	有	いややった事をくわしく紙に書いてくれたのでわかりやすかった。
男	5	有	前回やった事をくわしく紙に書いてくれたのでわかりやすかった。
男	5	有	体を動かす事は大好きだったんですが、日頃、自ら進んでやらないような遊びも楽しんで取り組み、興味を持つようになりました。
男	5	有	団体になれさせたいという思いもあって参加させていただいていたので、少しずつですが、なしもこともできているようなので思っていた結果に近づけたと思います。
男	5	無	いろんな事を経験させてくれるので、すこしづつ自信がついてきている。たくさんほめてもらえることも喜んでます。
男	5	無	スキップも出来るようになったし、自己流じやあかんとわかってくれた！！
男	5	無	子どもが楽しく通えたところ。毎週楽しみにしていました。
男	5	無	出来なかったのが出来るようになった。飛び箱、なわとび。
男	5	無	毎週とても楽しみにしています。なわとびを続けて飛べるようになった。
男	6	有	K之介の一番の課題とする対人、集団での自分のアビールの仕方とK之介なりに学べる絶好の機会になりました。
男	6	有	担当の先生がとても良かったです。S太郎はりょうこ先生がとても好きで、通う事を喜んでいました。
男	6	無	みんなで大なわとびをやってくれた。
男	6	無	子どもが楽しそうに取り組んでいた。
男	6	無	色々な種目を体験出来るので本人の自信につながった。ほめてもらえるので喜んでた。
男	6	無	毎回子どもが、運動教室を心待ちにしているので、教室でも前向きに取り組んでいるので。
男	7	有	体力がついて同級生と対等に遊べる様になった。
男	7	有	木曜日＝体大の日と理解し、友達と遊ぶ約束をせず、時間の使い方も運動教室モードに出来ている。スマイニングコーチに体大での話をニコニコして報告しているようです。
男	7	無	なわとびが苦手だったのが、練習しようとか家でできるように少しずつ出来るようになってきた。
男	7	無	ひとりひとりに優しい言葉がけをして下さり、子どもがどんどん自信を持って楽しめた。
男	7	無	他の習い事にはない笑顔が多かったです。運動教室の日はとても楽しみにしており、宿題もすくなく終わらせています。学生さん達の考えてくれたプログラム毎回楽しみにしており参加できてよかったです。
男	8	有	うまく出来なくても良いところを見つけて褒めてもらえる。運動をのびのびと行える。恐怖心がなくなった。
男	8	無	苦手だったなわとびができるようになった。
男	8	無	集団行動のルールを学べたからです。
女	2	無	参加はまだですが参加が出来る年になれば参加したいです。
女	3	無	ほめちぎってくれる。アゲアゲな感じが見ている方にとってもすごく楽しい。毎回たくさん工夫されていて、楽しみながら体力づくりできるのがとてもいいと思う。
女	3	無	子どもがとても楽しみにしていて、色々な事を教えていただけよかったです。
女	3	無	自分から体を動かすようになった。
女	4	有	皆さんのより添いが温かった。
女	4	有	初日からこちらのことを「おおさか」と言って、寝てもさめても「おおさかいく？」「おおさかいくんだよ」と、本当に楽しんでおりました。
女	4	無	集団行動のルールを学べたからです。
女	5	有	子どもの性格、個性に寄り添っていただけなので。
女	5	無	一人一人に指導員が付いて優しく教えてもらえる為。
女	5	無	子どもがとても楽しそうにしている。家ではできない大きな動きの運動ができる。丁寧に教えてくださる。親、祖父母以外の世代のおおせいの大人の方々とコミュニケーションできる(シャイな性格をなんとかしたい)。
女	5	無	子どもの能力にあわせて、むりせず、でも上達できるような、プログラムだと思います。子どもが楽しめる内容もふくまれているのでよかったです。
女	5	無	少しずつですが泣かずにできる時間が増えてきました。
女	5	無	色々な事にチャレンジすることができたので良かったです。
女	5	無	必ず先生が付きそってくれているので良かったです。
女	6	無	学生さん達の子どもへの気配り、面倒見がとても良かったです。
女	7	有	マンツーマンでの対応。障がいがあっても参加させて頂ける教室。
女	7	無	最初は何をやるかわからず嫌がる様子もありましたが、お兄さん、お姉さんにはげましてもらいながら取り組み、できることが増え、最後ははめたくないと書いていました。
女	4	無	普段あまり体を動かさないで、週1回でも機会があるのでうれしいです。けど、本人がなかなかやる気をだしてくれないので次回からはもっと積極的に参加してほしいです。
女	3	無	親とはなれて体操が出来なかった為。

運動教室の学生スタッフの指導の満足度について尋ねると、男女別、障がいの有無による大きな違いはなく、共通意見として先に述べた運動教室の参加満足度の回答にもあったように、学生の熱心な対応、優しい声掛け等、学生スタッフの子どもへの対応が良い評価につながっていることが確認された。その他、保護者に対する対応（教室での子どもの様子を詳しく教えてもらえた、毎回子どもの取り組みに関するコメントを書いた用紙をいただいた、自身の子どもに対しての問題点や様々な提案、家で行える運動のアドバイスをいただいた）等について、積極的な保護者への関わりが良い評価につながっていることが明らかになった（表7）。

6-6. 子ども運動教室に参加したことによる生活面の変化について

運動教室に参加したことによる生活面の変化について尋ねると、男女、障がいの有無による大きな違いはなく共通した意見として、まず運動面において、「スキップができた」「ボール投げでよく投げれるようになった」「体の動きが以前より滑らかになった」等、運動技術面の習得に関する回答、次に「ルールを守る」「友達と遊ぶことが楽しくなった」「人見知り改善された」「集中して話が聞けるようになった」等、集団行動から得られた効果に関する回答、また「初めての事でも挑戦する力がついた」「自宅でも運動するようになった

た」「何事にも積極的になった」「いろいろな運動に興味を示すようになった」「運動が好きになった」等、日常生活において積極的な行動変化があったことが述べられている。その他、「早寝早起」「ごはんをいつも以上に食べる」「健康的になった」「家族で会話が増えた」といった良い変化も報告されており、この運動教室に参加したことが、運動面だけでなく日常生活においても良い効果をもたらしていることが明らかになった（表8）。

7. 総括と今後の課題

1) 参加者（子ども・保護者）に対して

運動教室の参加満足度において「すごく良かった」と回答したものは94.2%（全体の結果）、学生スタッフの満足度では「すごく良かった」と回答したものは92.3%（全体の結果）であり、この調査結果をみても今回の運動教室はおおむね良い評価であることが確認された。スタート時に掲げた運動教室の課題（目標）については、先に述べた質問項目の「参加満足度」や「学生スタッフの満足度」の数値の高さ、または理由（自由記載）の回答内容からも分かる様に、学生スタッフの指導に対する真摯な態度がおおむね評価されたのではないかと考える。子どもたち自身については、子ども運動教室への出席率の高さや運動教室での活動観察の様子、また多くの保護者から子どもが毎週木曜日を楽しみにしている

表8. 子ども運動教室に参加したことによる生活面の変化

性別	年齢	障がい	要望
男	3	有	初めてのことは少し嫌がるほうでしたが挑戦する力が身につきました。
男	3	無	ますます体を動かす事が好きになった。
男	3	無	人身知りが少し改善した。
男	4	有	運動教室がある日は着替えを素早くしたり、おやつをすぐ食べて待たない時間を感じるようになった。
男	4	有	運動面では走ることが好きでよく走りまわったりスクーターなど積極的にになりました。集中力はかなりあって時間を忘れるくらいあり。
男	4	有	家でも習った事をマネして遊ぶ様になった。
男	4	無	友達とよく遊ぶようになり、性格も少し積極的になったと感じます。
男	5	有	グループの活動や同年代の子たちと一緒に居れるようになってきました。
男	5	有	スキップを覚えた。
男	5	有	手首や手先の動きが以前よりなめらかになったような気がします。苦手だったベンやおはしなども、持ちやすくなったようで、全くやらなかったおえかきもするようになりました。ボール投げや鉄棒なども（苦手でしたが）積極的にやるようになりました。
男	5	有	待つ時は待つという事を自覚できてきています。
男	5	無	ごはんをいつも以上に食べるようになった。
男	5	無	なわとびやボール投げを、突然室内で始めたりします。上手できると自信になるようで進歩も頑張れます。
男	5	無	家でも教室で習った事を練習したり、できなかった事を悔しがったりして見ていて嬉しかったです。
男	5	無	教室で教えてもらったことを積極的に遊びの中に取り入れている。自信がついた。
男	5	無	自分にしんが出来ました。
男	5	無	負ん気が強くなったような気がします。ボール投げで高く長く投げられるようになった→自信がついた→苦手だったドッチボールができる楽しい→お友達と遊ぶことが楽しくなりました。
男	6	有	音が反響するような場、人の多さでごみごみする場での苦手が少し軽減された。あと、数回しか食わない程度で相手（学生さん）を信頼できるようになった。
男	6	有	幼稚園での活動が積まよくなりました。
男	6	無	やれば出来るという自信がついた。
男	6	無	教室以外の運動も積極的にとりくむ様になった。
男	6	無	集中して話がきけるようになった。積極的に参加できる。
男	6	無	早寝早起
男	7	有	ざっくりですが、「健康的」になったような気がします。内面的にも…。
男	7	有	知らない子と話すようになりました。
男	7	無	苦手ななわとびを楽しめるようになった。
男	7	無	自ら進んでボール投げの練習をするようになった。家族で会話が増えた。
男	8	有	運動に対して前向きになれた。ちがう年の子とふれ合う事で協調性が出てきた。
男	8	無	学校でしかできない種目（とび箱やマットなど）を教えてもらい細かい所まで指導していただき、授業でも活かせていると思います。
男	8	無	夜早く寝るようになった。
女	2	無	よく歩きよく走ります。
女	3	無	てつぼうや、ボール遊びを自分からやりたいと言ったりしてくれるようになった。
女	3	無	ルールは守るようになった。
女	3	無	色々なことに意欲や意志がでてきた。
女	3	無	体力がついた。人の話を聞くようになった。
女	4	有	より活発になり、ヒマさえあれば、体を動かし、こちらでおそわった事を私共に見せて、出来た事をホメられるのが、嬉しいようです。
女	4	有	人みしりのかんわ、やさしさ、を学ぶ、チームワーク o t o .
女	4	無	お話を聞く時にお山座りでちゃんと聞いているので幼稚園でもちゃんとできていると思います。
女	4	無	スキップが全くできなかったんですけど、少しコツをつかんできたようで家でも練習するようになりました。
女	5	有	走ってくる人や飛んでくる物を怖がるのがやや減ったように思います。
女	5	無	運動が好きになりました。
女	5	無	運動を積極的にするようになった。
女	5	無	自信のある種目が増えました。
女	5	無	集中力がついたと思います。
女	5	無	色んな運動に興味を持つようになった。
女	5	無	日に日に持久力がついている気がします！
女	6	無	幼稚園での生活の中で、何事にも積極的にになりました。
女	7	有	運動が苦手から楽しいに変化した。今までより話しを聞けるようになった。
女	7	無	できないことも、練習すれば、達成できると実感できたところ。この経験を学校生活でも生かしてほしいです。

といった内容を聞くことから、ある程度の満足感を得られていることがわかった。また保護者の回答から、「鉄棒」「マット運動」「リズム運動」「縄跳び」「ボール投げ(男子)」といった種目に高い興味関心を示していることがわかり、それぞれの種目においてしっかりと技術指導がなされるよう学生スタッフの指導体制をしっかりと図っていかねばならない。その他、性差、年齢、障がいの有無の違い等から、参加者個々のニーズを把握し対応をしっかりと行っていく必要がある。

2) 学生スタッフに対して

学生スタッフの評価については、スタート時に掲げた運動教室の課題(目標)、「子ども達への積極的なコミュニケーション」「運動の楽しさを伝える」「教室実施前後の保護者への対話」といった項目においては、学生スタッフの指導満足度の調査結果を見る限り、おおむね達成できたのではないかと考える。また今後の課題として、今回の子どもの受け入れ人数が50名を超え、それに対応するため学生スタッフも80名近く配置した。期毎に入れ替りがある学生スタッフの指導をどのように行っていか、現状の学生指導の在り方(運動技術の指導や子どもや保護者に対しても対応方法)や運営組織等を学生とともに再度検証し次回の教室につなげていきたい。